

西村伊作 （註） 教育家。明治十七年九月六日和歌山縣生れ、昭和二十八年二月十一日没（八益一九三）。舊姓大石。廣島の明道中學校卒。平民社運動に参加。大正十年文化學院を創立し、自由主義教育を自指す。昭和十八年不敬罪で下獄、學院閉鎖し、戦後復興。

著書 『生活と藝術と』（大正十一年一月十一日、月刊・二月五日  
民文社。十版・十二年二月二十五日文化生活研究会）、『裝飾の遠  
慮』（大正十一年十一月十日文化生活研究会）、『明星の家』（大正  
十一年六月）『文化生活研究会』、『我子の教育』（大正十一年六月  
五日文化生活研究会）、『我子の學校』（昭和二年四月八日文化生活  
研究会）、『學生と性教育』（式場隆二郎合著、昭和十二年二月二十  
日建設社『性教育叢書』）、『わが母を語る』（合著・家庭新聞社編  
輯局『新妻伊都子論、昭和十一年十一月二日家庭新聞社出版部）、『教  
育の理想』（合著、昭和十二年十一月二十五日毎日新聞社）、『性  
愛の書』（昭和二十二年一月二十五日神田出版株式會社）、『新しき  
愛の教育』（昭和二十二年六月五日文化生活研究会）、『女子と貞操―  
女性身上相談』（昭和二十二年八月二十日ロジスエ社『ロジスエ』叢  
書）、『自由とわれらの益あり』（昭和二十五年十月十日紀元社出版株  
式会社）、『われ思ふ―西村伊作人生語録』（昭和二十八年十一月一  
日七曜社）等。



文獻、上坂冬子著『伊作とその娘たち』（昭和五  
十四年五月十五日鎌倉書房）等。